

(1) 野菜種子の消毒

1 農薬による種子消毒

防 除 法	備 考
<p>(1) イブロジオン水和剤（ロブラール水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニンジン 黒葉枯病 …種子重量の0.5%を粉衣する。 ・野菜類 アルタナリア菌による病害 …種子重量の0.5%を種子処理機により粉衣する。 <p>(2) イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（ベルコート水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニンジン 黒葉枯病 …乾燥種子重量の0.5%を粉衣する。 <p>(3) オキシテトラサイクリン水和剤（マイコシールド）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュウリ 斑点細菌病 …1500倍液に1～2時間浸漬する。 <p>(4) キャプタン水和剤（オーソサイド水和剤80）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、メロン、スイカ、シロウリ、カボチャ 苗立枯病 …種子重量の0.2～0.4%を粉衣する。 ・未成熟トウモロコシ、野菜類 ビシウム・リゾクトニア菌による病害（苗立枯病等） …種子重量の0.2～0.4%を種子処理機により粉衣する。 <p>(5) シアゾファミド水和剤（ランマンフロアブル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エダマメ 茎疫病 …種子重量の2%の原液を塗抹する。 <p>(6) ダイアジノン・カスガイシン・チウラム粉剤（粉衣用ペアーカスミンD）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豆類（未成熟、ただし、エダマメ、実エンドウ、サヤエンドウ、サヤインゲンを除く） タネバエ、苗立枯（リゾクトニア菌） …種子重量の0.3～0.5%を粉衣する。 ・サヤインゲン タネバエ、かさ枯病、苗立枯（リゾクトニア菌） …かさ枯病は種子重量の0.3%、タネバエ・苗立枯（リゾクトニア菌）は0.3～0.5%を粉衣する。 ・エダマメ 斑点細菌病、タネバエ、苗立枯（リゾクトニア菌） …斑点細菌病は種子重量の0.3%、タネバエ・苗立枯（リゾクトニア菌）は0.3～0.5%を粉衣する。 <p>(7) チアメトキサム・フルジオキシニル・メタラキシルM水和剤（クルーザーMAXX）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エダマメ アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、ハト・キジバト、フタスジヒメハムシ リゾクトニア根腐病、紫斑病、苗立枯病（ビシウム菌）、茎疫病、黒根腐病、白絹病 …乾燥種子1kg当たり原液8mLを塗抹する。 <p>(8) チウラム水和剤（キヒゲン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エダマメ 紫斑病、タネバエ、ハト } …乾燥種子重量の1%を粉衣する。 ・トウモロコシ カラス、キジ、ハト } …乾燥種子1kg当たり原液20mLを塗抹処理する。 <p>チウラム水和剤（キヒゲンR-2フロアブル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エダマメ 苗立枯病、紫斑病、タネバエ ・トウモロコシ カラス、キジ、キジバト、スズメ、ハト、ムクドリ、苗立枯病 ・豆類（未成熟） ハト、カラス ・豆類（未成熟ただしエダマメを除く） 苗立枯病、タネバエ <p>(9) チウラム・チオファネートメチル水和剤（ホーマイ水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュウリ つる割病 } …200倍液に30～60分間浸漬又は種子重量の0.5～1.0%を粉衣する。 ・ユウガオ(スイカ接木用) つる割病 } …200倍液に20～30分間浸漬する。 ・トマト 萎凋病 …200倍液に20～30分間浸漬する。 ・豆類（未成熟） フザリウム・リゾクトニア菌による病害 …種子重量の0.5%を種子処理機により粉衣する。 ・野菜類（豆類（未成熟）を除く） フザリウム・リゾクトニア菌による病害（つる割病等） …種子重量の0.5%～1.0%を種子処理機により粉衣する。 <p>チウラム・チオファネートメチル水和剤（ホーマイコート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュウリ 炭疽病 …種子重量の2～3%を粉衣する。 <p>(10) チウラム・ベノミル水和剤（ベンレートT水和剤20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュウリ つる割病、つる枯病、苗立枯病 …20倍液に30分間種子浸漬又は乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。 ・トマト 萎凋病 …200倍液に30分間種子浸漬又は乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。 ・スイカ、ユウガオ（スイカ接木用） つる割病 …乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。 ・トウモロコシ 苗立枯病 …乾燥種子重量の0.5%を粉衣する。 ・カボチャ フザリウム立枯病 …乾燥種子重量の0.5%を粉衣（湿粉衣）する。 ・野菜類 フザリウム・リゾクトニア菌による病害 …乾燥種子重量の0.4～0.5%を種子処理機により粉衣する。 <p>(11) トリフルミゾール水和剤（トリフミン水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カボチャ フザリウム立枯病 …種子重量の0.3%を粉衣（湿粉衣）する。 <p>(12) トルクロホスメチル水和剤（リゾレックス水和剤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、ホウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌） …種子重量の0.5%を粉衣する。 ・サヤエンドウ、実エンドウ 茎腐病 …種子重量の0.5%を粉衣する。 <p>(13) フルジオキシニル水和剤（ウイスベクト水和剤5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ、トマト、ホウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌） …種子重量の0.3～0.5%を粉衣する。 <p>フルジオキシニル水和剤（マキシム40）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツ、トマト、ホウレンソウ 苗立枯病（リゾクトニア菌） …乾燥種子1kg当たり原液0.52mLを種子処理機により塗抹処理する。 	<p>粉衣は乾燥種子を用いる。また、粉衣の際はマスクを必ず着用する。</p> <p>種子浸漬は、浸漬後水洗せず風乾してから播種する。</p> <p>湿粉衣は少量の水で湿らせた乾燥種子に薬剤を付着させ、風乾後に播種する。</p>

- (14) フルトラニル水和剤 (モンカット水和剤)
 ・キュウリ、トマト、ミニトマト 苗立枯病 (リゾクトニア菌)
 ……種子重量の0.5～1.0%を粉衣する。
 ・野菜類 リゾクトニア菌による病害 (苗立枯病等)
 ……種子重量の0.5～1.0%を種子処理機により粉衣する。
- フルトラニル水和剤 (モンカット水和剤50)
 ・キュウリ、トマト 苗立枯病 (リゾクトニア菌) ……種子重量の0.3～0.5%を粉衣する。
 ・ハウレンソウ 苗立枯病 (リゾクトニア菌) ……種子重量の0.5～1.0%を粉衣する。
- (15) ベノミル水和剤 (ベンレート水和剤)
 ・ミツバ 菌核病 ……500倍液に24時間種子浸漬又は種子重量の0.5%を粉衣する。
 ・トウモロコシ、野菜類 フザリウム菌による病害
 ……乾燥種子重量の0.16%を種子処理機により粉衣する。
- (16) ポリオキシシン水溶剤 (ポリオキシシンAL水溶剤)
 ・キャベツ 黒すす病 ……20倍液に10分間種子浸漬する。
- (17) メタラキシルM液剤 (エイブロン31)
 ・ハウレンソウ ベと病
 ……乾燥種子 1 kg 当たり原液1.07～1.78mLを種子処理機により塗抹処理する。
 ・ハウレンソウ、野菜類 ピシウム菌による病害 (苗立枯病等)
 ……乾燥種子 1 kg 当たり原液1.78mLを種子処理機により塗抹処理する。
- (18) メプロニル水和剤 (バシタック水和剤75)
 ・ダイコン、トマト、ミニトマト、キュウリ、スイカ 苗立枯病 (リゾクトニア菌)
 ……種子重量の0.4%を粉衣する。
 ・ネギ 黒穂病 ……乾燥種子重量の0.4%を粉衣する。
 ・ハウレンソウ 苗立枯病 (リゾクトニア菌)
 ……200倍液1時間種子浸漬又は1000倍液に24時間浸漬又は種子重量の0.4%を粉衣する。
 ・野菜類 リゾクトニア菌による病害 (苗立枯病等)
 ……乾燥種子重量の0.4%を種子処理機により粉衣する。
- (19) 銅水和剤 (野菜類種子消毒用ドイツボルドーA)
 ・野菜類 かいよう病、斑点細菌病、黒腐病等の種子伝染性細菌病害
 ……500～1000倍液に30分間種子浸漬する。
- (20) TPN水和剤 (ダコニール1000)
 ・ニンジン 黒葉枯病 ……乾燥種子 1 kg 当たり12倍液60mLを吹付け処理する (種子消毒機使用)。

2 温湯浸法による種子消毒例

作物名	病害名	処理条件※
トマト	萎凋病	55℃～60℃で10～20分
	半身萎凋病	45～50℃で30分
キュウリ	かいよう病	55℃で25分
	斑点細菌病	52℃～56℃で10～20分又は50℃で10～30分、
	炭疽病	50℃で20分又は60℃で15分
スイカ	つる割病	55℃で30分
カボチャ	フザリウム立枯病	55℃で15分
ユウガオ	つる割病	55℃で30分又は57℃で20分又は60℃で10分又は69℃で2分
ダイコン	黒斑細菌病	50℃で5分
ハクサイ	黄化病	50℃で20分
	根朽病	50℃で5分
キャベツ	黒腐病	50℃で30分
	黒斑病	55℃で10～25分
	黒すす病	55℃で10～25分
	べと病	48～50℃で20分
	黒腐病	50℃で30分
カリフラワー	黒腐病	50℃で30分
ニンジン	斑点細菌病	50℃で20分
セルリー	葉枯病	48℃で30分
	斑点病	48℃で30分
トウモロコシ	倒伏細菌病	49℃で10分

※種子の状態や品種によって発芽障害を生じることがあるため、予備試験により発芽の状況を確認すること。
また、処理にあたっては温度、時間を厳密に制御し、処理後は直ちに広げ冷却するとともに風乾する。

3 乾熱消毒法による種子消毒例

作物名	病害名	処理条件※
トマト	萎凋病	40℃で24時間予備乾燥後、75℃で7日
	根腐萎凋病	萎凋病に準ずる。
	葉かび病	70℃で2日
	ToMV	70℃で3～4日
ピーマン	PMMOV	70℃で3日
キュウリ	黒星病	70℃で2日
	斑点細菌病	70℃で3日
メロン	KGMMV	70℃で2～6日
	つる割病	70℃で3日
	つる割病(レース1, 2y)	75℃で10日
	CGMMV	70℃で3日
スイカ	えそ斑点病	70℃で3日
	炭疽病	70℃で2日
	CGMMV	70℃で4～7日
ユウガオ	つる割病	70℃で4日又は75℃で6日又は80℃で5日又は40℃で24時間予備乾燥後に75℃で7日
	CGMMV	70℃で3日
カボチャ	立枯病	75℃で3日
キャベツ	黒腐病	40℃で24時間予備乾燥後、75℃で5～7日
レタス	斑点細菌病	70℃で1～4日
	LMV	80℃で3日
カリフラワー	黒斑病	60℃で120分
ネギ	萎凋病	40℃で24時間予備乾燥後、80℃で4日
トウモロコシ	倒伏細菌病	50℃で24時間予備乾燥後、70℃で7～10日

※ 種子の状態や品種によって発芽障害を生じることがあるため、予備試験により発芽の状況を確認すること。
処理した種子を長期間貯蔵すると、発芽率が低下する場合がありますため注意する。
乾熱処理には乾熱滅菌器など専用の装置が必要である。